

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2024年度)

| | |
|-------|----|
| 施策コード | 41 |
|-------|----|

| | |
|----------|---|
| まちづくりの方針 | 4 交通・都市基盤・水環境 |
| 施策 | 1 都市計画 |
| 施策のめざす姿 | 人口が減少する中であっても、充実した都市機能が維持され、市民が安全で快適に暮らす、スマートでコンパクトな都市が実現しています。 |

| まちづくり指標 | 現状値 (2019年度) | 実績値 | | | | | 目標値 | |
|--|-----------------|----------------|----------------|----------------|--------|--------|----------------|----------------|
| | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2025年度 | 2030年度 |
| 魅力あるまちの形成に満足している市民の割合(%)【都市計画課】 | 5.5 | — | — | — | | | 8.1 | 10.8 |
| 土地の有効活用と環境整備に満足している市民の割合(%)【都市計画課】 | 10.5 | — | — | — | | | 13.2 | 15.9 |
| 総人口に占める若年子育て層(20歳～39歳)の総数と割合(人・%)【都市計画課】 | 12,239 19.5 | 11,745 19.3 | 11,826 19.6 | 11,840 19.7 | | | 12,350 20.0 | 12,500 22.0 |

| 施策の方針 | 担当課 | 実績・成果 | |
|-------------------------|-------|---|--|
| | | 今後の方向 | |
| 1 快適でにぎわいある安全なまちづくり【重点】 | 都市計画課 | 北の玄関について、地権者の意向確認、交通量調査及び駅前広場の検討を行い、現状の把握を行うとともに、駅前のイメージを掴むことができた。 前年度の実績をもとに地元住民への周知や協力を得ていく。 | |
| 2 社会情勢の変化に対応したまちづくり【重点】 | 都市計画課 | 各種事業を通じて地元住民や民間事業者のまちづくりへの関心度を高めることができ、事業の実現化に向けて具体的なイメージ等を作成することができた。 各事業が具体的に動き出すため、引き続き、地域の理解を得られるよう努めるとともに、名鉄やUR都市機構を始めとする関係機関と連携しながら着実に進めていく。 | |
| | | | |
| | | | |

| | | | | |
|------|-----------------------|--|----|----|
| 総括評価 | 施策のめざす姿の達成状況 | 名古屋鉄道やUR都市機構と連携・協議しながら、将来の津島駅のイメージの共有を行ったほか、用地交渉を進めた。また、市場調査や地域住民を巻き込んだワークショップ及びトライアルサウンディングなど、公募に向けた資料作成を行い、事業の具現化に向けて次年度に繋がるよう、着実に進めることができ、地域住民や民間事業者の事業への関心度を高めることができた。 | 評価 | B |
| | 施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと | 地域住民や事業者の事業への関心度を高めることができた。 マチナカの賑わい発展に向けて、天王川公園Park-PFI事業と連携して津島神社や津島駅のほか、天王通り線や本町筋の地域資源が息づくエリアにおいて、新たな活動が芽生えるようパブリックスペース(公共空間)を整備して交流人口や関係人口の創出と併せて、都市活力を高めていく。 | 方針 | 継続 |